

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和元年度 第2回子ども・子育て会議
開催日時	令和元（2019）年9月30日（月）14：00～16：00
開催場所	子育て世代包括支援センター 会議室
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	西森委員，三上委員，黒神委員
事務局職員氏名	福祉保健部 山本部長 子育て支援課 下野課長，鍵本課長補佐，濱野課長補佐，中田主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部長あいさつ 3 会長の選出 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> （1）第1期計画の取組内容からみる課題と方向性について （2）ニーズ調査結果等から読み取れる課題について （3）計画書の骨子（施策体系）案について 5 報告等 <ol style="list-style-type: none"> （1）幼児教育・保育の無償化に伴う保育給食費（副食費）の取扱いについて （2）認定こども園のうみ新築工事の延長について 6 その他 7 閉会
配付資料	資料1 第2期 江田島市子ども・子育て支援事業計画-骨子案- 資料2 江田島市関係団体ヒアリングシート回答集約結果 資料3 江田島市施策体系の考え方 報告1 幼児教育・保育の無償化に伴う保育給食費（副食費）の取扱いについて 報告2 認定こども園のうみ新築工事の延長について その他 次第，委員名簿，江田島市子ども・子育て会議規則
その他	

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・出席者の確認 ・資料の確認 ・挨拶 ・委員，事務局自己紹介 ・㈱ぎょうせい紹介 ・会長の選出（梅比良会長）
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・副会長の指名（樋上副会長） ・まず議題（１）第１期計画の取組内容からみる課題と方向性について，事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料１説明 ・第１期の取組の一つとして，子育て世代の交流の場の提供及び相談支援体制の充実を図ることを目的に，子育て世代包括支援センター（以下「センター」）を４月に開設しました。第１期計画のそれぞれの基本施策の課題と方向性にもあったように，相談体制の充実や居場所づくりを含めた場の提供への取組として，今後センターの充実は欠かせないものと考えています。そのために，特に，こういった取組に力を入れてもらいたいなど，委員が日頃感じている意見を伺いたいと思います。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・センターについての意見を含め，質問や意見があれば伺いたい。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・センターができて充実したと感じる。満足度も上がっているのだから，子育て世代の人は「幸せだ」「江田島に住んでよかった」という人が増えているようだ。若い人が住みよいまちになるための努力が感じられる。 ・その反面，保育士の確保と専門性の向上について，確保が難しい中でどのように頑張ってくれるのかと思う。職員の充実が大事だが，現場の人はどう思っているのか。子育て支援が充実すればするほど，現場の余裕がなくなる。現場の先生の思いが資料からはみられないが，実際はどうなっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・入園する子どもの低年齢化が進み，未満児が増加しているのだから，保育士の余裕があまりない状況になっています。保育士の確保については，計画的に正職員を採用しているものの，将来的には子どもの数が減少することもあるため，臨時職員で対応したり，再任用制度を活用して定年退職者に応募してもらうようにしています。臨時職員は毎月広報等で募集し，採用に向けて努力しています。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の声を知りたい。

議事内容（要旨）	
眞澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月当初は入っているが、その後入園児、特に小さい子が入って来るため未満児の部屋はいっぱいになる。「ロッカーが足りないので、三段ボックスを買ってほしい」「タオルを掛ける場所もない」と言っている。 ・ 子どもが増えてくるとけんかなども増えてくる。段々厳しい状況になっていると思うが、せつかく保育園に来ているので、充実した生活を送れるよう心がけている。 ・ 職員の質の向上については園内研修を行ったり、外部の研修の報告を行ったり、園としての取組を考えているところだ。
福吉委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ状況だ。資質向上については、正職員も臨時職員も力を入れて頑張っていきたいと思う。子どもの成長のためと、子どもが安全に楽しく保育園生活を送ってもらい、保護者にも安心して預けてもらえるよう研修に力を入れたいと思う。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 能美町の民生児童委員をしている。年に1回、保育所や小学校に行って保育士を含めた現場の先生の意見や実情を聞くが、未満児が増えて、保育士が忙しく厳しい状況のようだ。以前の話になるが、ある園長が未満児をおんぶして、2人手をつないで園の外で用事をしていたこともある。 ・ 研修は、人員に余裕がなかったら行きたくても行けない。自分が留守をすると、他の先生に負担がかかると思っているように感じる。その点もしっかり考えてもらいたい。話を聞くと、定員を満たしている、よい方だと言うが、現場の先生としてはもう少し余裕がほしいように見える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場の保育士は、正職員も臨時職員も本当に頑張ってくれていると感じています。正職員も雇い入れてくれるよう常にお願いしています。またサポートする臨時の職員は、何年も勤めても雇用条件がよくなるない課題がありながらも働いてくれています。来年度から国で、「会計年度任用制度」という正規職員と同じような雇用条件で雇い入れ、年度ごとに更新する、正規職員同様昇給もある制度が始まります。まだ総務からリリースされていませんが、保育士もこの制度で採用できないか検討を進めています。この制度が整えば、昇給やボーナスが適用されます。待遇面が改善できれば、人員確保もこれまで以上にしやすくなると思っています。待遇改善からよい保育士が働ける雇用環境を整備していきたいと考えています。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の質の向上については、現市長が就任してから、職員が市の宝にならないといけないと、研修の予算を倍以上つけてくれています。研修にどんどん出て行くよう声掛けもあります。しかし予算があっても、現場が忙しいとなかなか行けないので、まずは臨時保育士の雇用条件をよりよいものにして勤めやすい環境にし、人員を確保した上で、正規の職員にも外の研修に出て行ってもらいたい思いがありますので、少しずつですが体制の整備と質の向上に力を入れていきたいと考えています。
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1説明P17に絵本について触れられているが、園長が「絵本を買いたいのので予算を組んでほしい」と言ったら、無理と断られた。結局保護者会から出して買ったが、どうなっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのときの消耗品の予算などで難しかったのだと思います。子どもの成長を促す、子どものためになる消耗品はできるだけ積極的に買っていきたいと思っています。今後はできるだけと思います。
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園から電話がかかって来たとき、実際に見に行ったか？そういうときは、実際に現場へ行って見てもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見をありがとうございます。江田島市は現在第1期の計画の途中です。第1期は施設の整備に力を入れていて、認定こども園大柿の大規模改修をし、同江田島を建て、今、同のうみを建てています。ハード面が少しずつ整備されてきたので、先ほどあった絵本やALTの人に来てもらっての英会話教室など特長のある保育事業をと考えています。江田島では自然に親しむ保育、のうみでは伝承文化に親しむ保育、大柿はスポーツ、体力づくりといった保育の質を高める取組を今年度よりやっています。この会議の中で、子どもたちが絵本を読む環境づくりに力を入れて取り組んでほしいということを計画の中に入れてもらおうと、福祉保健部が予算確保する際に武器になります。絵本だけでなく、計画の中にあるのは江田島の子育てのためにやってもらいたいという保護者の声だと説明できれば、議会や財政に対しても力になります。生の声を計画の中に載せてもらえたらと思います。保育の質にはこれから取り組んでいくので、どこか1つの園でモデル的に「ここは絵本の読み聞かせを頑張る保育」と打ち出せば、そこに予算をたくさんつける考え方もできます。そういった色々なアイデアを出していくのがこの会議だと思ってもらい、様々な意見を出してもらえたらと思います。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・県の教育長が力を入れているのは本の充実だ。今の絵本はかつてのものと違う。また時代に沿わないものもあるので、中身を変えていかないといけないし、きれいな本や発想が広がる本も入れていかないといけない。本の充実には予算をかけてもらいたい。

議事内容（要旨）	
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つの園に同じ本を 20 冊ではなく、子ども同士で回していけるようにしたら、小さな予算でたくさんの本が買えるのではないかな。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算がないのはわかるが、回すのではなくしっかりと読んでもらいたい。最終的にはそれが子どもの力になる。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ うちの地域には、第 1, 2, 4 水曜日に図書館から児童館へ読み聞かせが来る。子どもたちでなくお母さんたちがしっかり聞いている。子どもたちを落ち着かせるためには、読み聞かせのような時間も必要というのをお母さんに教えることも必要だと分かってきた。予算がないのは分かるので、皆が回して読めるようにしたらと提案した。
宝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本は園だけか。小学校はだめなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども子育て会議は子育て全般です。学校教育課長も生涯学習課長も委員です。子育てに関する意見を色々聞かせてもらうのが会議の趣旨です。
宝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校もぜひにと思う。小学校で読み聞かせをしているが、10 年、20 年以上前の寄せ集めの古い本ばかりだ。先生にお願いしても、予算が取れないとのことなので新しい本が入らないのでお願いしたい。
山近委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校でも市で予算を取って、定期的に本を入れ替えられるようにしている。ただ何百冊とはいかず数十冊ごとで、1～6 年のそれぞれで適した本が違うため、1 学年あたりとなると限られてくる。 ・ これからは読書によって、重要な語句を覚えて総力を高め、主体的に発言できる、表現できる子どもが求められる。基本的な語彙力が多くないとこれからの教育は難しくなると思う。読書は大事だと感じているので、これからも取り組んで行きたい。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他にあれば伺いたい。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ センターの役割のアイデアについて。センターは親育てセンターだと思う。今や学校がついていけないくらい、保護者の考え方が色々な面で代わり、進んでいる。「親プロ」の充実をさせながら、ファシリテーターが増えるような取組をしてもらいたい。子どもを育てるのは親なので、保育所にばかり言っても子どもは育たない。親も仕事で一生懸命で、保育所時代が大事だったことに後で気づく。小学校よりもまず保育所で子どもが落ち着いた環境の中でちゃんと育つことが大事だ。そのためには、親や社会が手をつないでどのような環境を整備するかを、親も本気で考えないといけない。保育所任せ、センター任せではいけない。案はないが、親が我が子だけでなく周りの子も含めた子育てを考える環境を作るためには、親プロは大事だと思う。そういう取組はあるのか。府中は親プロが何千人もの子どもの保護者が入っている。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 親プロについては、今年度センターの「にこにこひろば」でできないかと、担当者レベルですが話が出ています。またニーズ調査などでも多く出てきています。ここのひろばは、妊娠期から子育て期にわたって切れ目がない点が重要なので、妊娠期からできる取組の一つとして行っていければと思っています。
宝委員	<ul style="list-style-type: none"> 親プロとは何か。
松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> 広島県が開発したプログラムで、たくさんの種類がある。親とファシリテーターと呼ばれる助言者で構成され、プログラムに沿って話をする内容を決め、親同士が意見を出し合い、ファシリテーターが助言をしていくものだ。江田島市の場合はファシリテーターが少ないので、親プロを活用できていないのが現状だ。昨年度は、乳幼児健診時等にファシリテーターに出てもらい、健診に来た親とプログラムを行ったものが一番多く、子育てとの連携があまりできていない状況にある。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> 他になければ、議題（2）ニーズ調査結果等から読み取れる課題について、説明を願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料1，資料2説明 ニーズ調査では、過半数の保護者が子育て中に悩みを感じている結果となっています。支援者は、悩みを誰かに相談することで安心し、日々の子育てに少しでも前向きな気持ちになれることを切に願っています。そのためには、人とのつながりが欠かせないと思います。市としても担当課で相談体制を整えるなどの取組を行っていますが、今後の参考にするため、子育て世代と地域とのつながりについて、実際に取り組んでいることや今後あるとよいものがあれば、ご意見を伺いたいと思います。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> アイデアや希望も含め、質問や意見等あれば伺いたい。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> なかなか難しい。親が地域に入らないと子どもも入れないが、親世代が入ってこない。地域によって違うとは思いますが、地域は受け入れられるように行事を組んだり、門戸を開いている。が、親世代は年寄りと付き合うのが面倒くさいのか入ってこない。なぜ入らないのかと思う。

議事内容（要旨）	
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは毎週水曜日に子どもを育てているお母さんの居場所づくりとして児童館を開放し、親子 30 名くらい来ている。そのときにお茶碗を洗ったり、玉ねぎを切りながら、地元の野菜の調理の仕方や、「子どもがこうだ」という話から「そういうときはこうすればよい」など話している。気軽に相談してくれ、和気あいあいと若いお母さんと触れ合える時間を持っている。地域で自治会長をやっているので、児童虐待にならないようお母さんを受け入れる体制を整えている。 ・会議に当たり、お母さん方に資料を読んでもらった。「関係各所ってどこなの？ 関係各所に相談とあるけど、どこに行けばいい？」という意見が出たので、「聞いておく」と答えている。普通のお母さんには分からないので、もう少し分かりやすく書いてもらう方がよいと感じた。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・関係各所について。今回は施策の体系案までの意見を聞いて方向性を出した上で、第3回で細かい取組や担当課も示せるようにしたいと考えています。日頃からどこに相談したらよいか分からないという話を聞くので、計画策定にあたり、情報発信の仕方を工夫しないといけないと感じています。この計画を機会に情報発信のあり方も工夫したいと思います。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さん方に回し読みをしてもらい、感想を聞いた中に「いいことが書いてあるけど、全部できるといいよね。理想よね」と言っていた。また、「理想がなければ前に進めない」という意見もあった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・岡田委員の意見については、私も常々職員に言っていることです。計画や行政の文書は、分かる人にしか分からない文章になっているという指摘がよくあります。分かった人間が分かったようにしか書いてない計画にならないよう肝に銘じ、市民、先ほどのお母さん方が「これ何のこと？」とならないような計画書策定に努めたいと思います。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・他にあれば伺いたい。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 P23にある「放課後子ども教室」は何をするのか。放課後児童クラブとの違いは何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブは、昼間母親がいない子どもを対象にしています。放課後子ども教室は、昼間母親がいる・いないに関係なく放課後の子どもの居場所をつくるもので、外部の人を講師に招いて学習やスポーツ等を行うものです。江田島市では実施していませんが、そういった施策があります。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・旧大柿町時代にやっていた事業です。学校で週5日制が導入された際に土曜日の子どもの居場所づくりということで、地域の方に講師をお願いして色々なクラブ活動のようなものがないかというところからスタートしました。各自治会、女性会、老人クラブ等の団体をお願いして、例えば飛渡瀬小学校区では、第1土曜日は自治会の役員が講師となってしめ縄づくり教室、餅つき大会等の行事、第2土曜日は女性会が講師となって、コーラスや大正琴の指導、第3土曜日は老人クラブが講師となって、ちぎり絵等をやっていました。地域には子どもたちに伝統文化やスポーツ、勉強等教えられる人がたくさんいると思います。そういった地域の人材を活用して、公的施設の中で「放課後子ども教室」として色々なプログラムを組み、学びに行きたい地域の子子どもたちが学びに行くという事業でした。 ・樋上副会長の深江地区では交流プラザで、例えば第1水曜日は地域の高齢者がこれを行うので、地域の子子どもたちに参加したい人は来てくださいと呼びかけるような形でしょうか。世代間の交流と放課後の子どもの居場所づくりを一緒にやるイメージです。今、放課後児童クラブでは勉強まで手が回らない、指導者と保護者のニーズのミスマッチがある現状です。それが放課後子ども教室では、例えば退職した教員が先生となって勉強の仕方を教えるような教室を行ったりします。そういう活動も想定されると思います。
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それは市の事業か。月額何円とか費用がかかるものか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市の事業ですが、江田島市では現在やっていません。文部科学省が進めている事業のメニューのひとつにあります。
松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室は原則無償で、放課後児童クラブのように毎日あるものではなく、週1回程度地域のボランティアに参加してもらい、子どもたちに体験やスポーツ、勉強等をさせるものだ。放課後児童クラブは厚生労働省、放課後子ども教室は文部科学省だが、国としては連携して進めていこうとしている。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市としては実施する予定で進んでいるのか。
松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・進んでいない。放課後子ども教室は文部科学省なので、市では生涯学習課が主体となるが、今放課後児童クラブもやっているため2つを一度にやるのは難しい。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない上に、塾や習い事に行っている子どもが今は多い。やっても1人2人だとどうなのか。やるとしても難しいように思う。
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1を見ると「利用希望は約4割」とある。これはどこから出てきた数字なのか。
松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは、週に1回といった詳しい記載はないが、色々な体験ができるといった書き方だった。質問項目にはなかったと思う。

議事内容（要旨）	
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・他に質問や意見があれば伺いたい。 ・続いて議題（3）計画書の骨子（施策体系）案について、説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1，資料3説明 ・この施策体系案以外に方向性として追加してもらいたい内容があれば、伺いたいと思います。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに記載してあるもの以外でもということだった。何かあれば伺いたい。
眞澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期の施策で「保育士の質の確保」があがっているが、保育園で職員と話したとき、「資質向上はやっていかないといけないが、事務作業に向う時間が十分取れない」「滋賀に研修に行った際に、新しい考え方としてICT化を進めている園もあると聞いた。ICT導入により、保育時間の短縮や保育内容の充実、保育の質の向上が図れるのではないか」という意見が出た。「ICT化は簡単にできることではなく、多額の費用や研修が必要で立ち上げに時間がかかるが、できれば充実するのではないか」という意見も出た。
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・今の意見は今後検討されることになると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 P34 以降は具体的な取組を記載します。今、眞澤委員からあったICT化については、保育の質の確保の取組の中に「ICT化を進めることで、保育士が子どもに向き合う時間を十分に確保できる」ことを進める「ICT化の推進」を入れてくるイメージで見てもらえたらと思います。今の意見は取組内容、具体的な肉付けの中に反映できるかと思います。
宝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・産科や小児科など医療的なことは、計画の中に入らないのか。 ・全般的に病院がない。夜間もそうだが、平日の昼でも休診日が重なったりしている。遠くまで行くようになり、あちこちの病院に行くようになる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども子育て支援事業計画の中に、子育て中の悩みについてどこまで盛り込めるかは、医療面では自信を持った回答が現在できません。しかし保護者が不安に感じていることを会議で意見として出してもらおうと、議事録に残すことができ、また部長の立場で医師会に保護者の生の声として、出所がはっきりとした意見として伝えることができます。ここが大変、ここで悩んでいるということを会議の中で発言してもらえるとありがたいです。 ・江田島市で行う各種のまちづくりアンケートでも、医療機関に対する市民の不安の声は必ずあがってきます。公立の病院を持っていないので、すぐ施策に反映するのは難しいですが、市役所の職員は肌身に感じていないといけません。遠慮なく意見を出してもらいたいと思います。
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児医療の年齢をを延ばす計画はあるのか。

議事内容（要旨）	
事務局	・予算との兼ね合いがありますが、要望が高いことは認識しています。この会議でも要望が出たことは必ず伝えられます。諦めず声を上げ続けてもらえたらと思います。
樋上副会長	・小学校や中学校に防犯カメラが設置されると聞いている。安全安心面から、保育園等に防犯カメラを設置することはあるのか。
事務局	・認定こども園大柿、江田島に設置、のうみにも設置予定です。切串と三高保育園は設置する予定です。
梅比良会長（議事進行）	・他になければ、報告等（1）幼児教育・保育の無償化に伴う保育給食費（副食費）の取扱いについて、説明願いたい。
事務局	・報告1説明
梅比良会長（議事進行）	・質問等あれば伺いたい。 ・ないようなので、続いて報告等（2）認定こども園のうみ新築工事期間の延長について説明願いたい。
事務局	・報告2説明
梅比良会長（議事進行）	・何か質問等あれば伺いたい。
樋上副会長	・1 概要に「平成31年3月から・・・」とある。
事務局	・工事の実施が平成31年3月です。 ・表は年度で表記しているもので、H30年度となっています。
三王委員	・予定は未定ということは、はっきりしたことがわからないのか。
事務局	・令和2年4月に新しい認定こども園のうみに入れないので、今あるのうみの園舎と中町保育園の園舎を活用する、園児は完成までそのまま中町、のうみに通ってもらうという考え方と、手狭だが新しい認定こども園のうみを希望する子は一度現在ののうみに入ってもらい、新しい園舎ができれば、新しい方へ移る考え方の2つがあります。現在のうみに通っている子どもの数と中町の子どもの数、新年度当初の推定人数を現在ののうみで保育することができるかどうかを考えながら、年度途中で移行する場合にどれが子どもたちにとって一番よい方法か、保育現場が混乱しないか、保護者に負担をかけないか事務局と保育施設で考えているところです。
三王委員	・結論はいつ頃出るのか。
事務局	・できるだけ早く、10月中には何とかと考えています。
三王委員	・のうみは来年度の役員を10月の初めに決める。それが分らないと役員決めができない。いつか分らないので今までどおり行うつもりだが、そうすると再度となる。保護者が集まる機会が保育参観の後など少ないので厳しい。
事務局	・できるだけ迷惑がかからないよう、早い時期にと思います。

議事内容（要旨）	
三王委員	・10月9日に総会があり、その場で役員を決める。中町保育園は11月30日頃の発表会の後に出すようなので、のうみも考えないといけない。役員を決めるのは本当に大変で悩んでいる。
事務局	・現在部内で考えているところで、市長に上がっていません。可及的速やかに決めたいと思います。園長を交えて相談させてもらいたいと思います。
三王委員	・引越しするとなると、保育園が何日か休みになるのか。
事務局	・それはありません。土日で行います。
三王委員	・運動会を毎年5月の終りに行うが、どうなるか。
事務局	・そういったことも含めて園長と協議します。
梅比良会長（議事進行）	・2か月遅れるのは想定外だったと思う。市がわざと遅らせたわけではないので理解をしてもらいたい。
事務局	・全国的に建設資材の不足があります。
三王委員	・鹿川公民館は続くのか。
梅比良会長（議事進行）	・色々な所で資材不足がある。お知らせや連絡を聞いて、頑張っていきたい。 ・続いてその他に移りたい。
事務局	・次回の会議開催日時について（11月15日（金）14時または13時30分より）
梅比良会長（議事進行）	・委員の希望はあるか。保護者は早い方がよいようだ。
事務局	・11月15日（金）13時30分より開催とします。
梅比良会長（議事進行）	・これで議事すべて終了した。
事務局	・挨拶 ・閉会